

総合政策.コラム

校正・編集 総合政策学科学科長 教授 澁澤健太郎

コラムでは現役学生や卒業生の生の声を届けます。

第1回 4年生 岡部孝一郎君

○どうしてお店をやってみようと思ったのですか？

そうですね、最近の経済やビジネスは本当に目まぐるしいスピードで変わって行って、たとえ正社員として働いていても、その会社がいつ倒産するか読めないと思うんです。もちろん業種・業界にもよります。だから自分でビジネスをしてもリスクは一緒かなと思って始めました。

○なるほど。アンティークショップを選択した理由はなんですか？

もちろん自分が好きだから！です。10年以上自分で集めてきましたから。だから始める初期費用も自分のコレクションで仕入れ価格を抑えました（笑）。

○10年はすごいですね！仕入れなどは海外などから買い付けるのですか？

そうです！年2,3回は主にヨーロッパの方に買い付けにいきます。また大学の海外研修でも空き時間に現地特有の古い物を買ってきました。アメリカ、ロサンゼルスでのゼミ研修の時はフリーメイソン関連の物を沢山仕入れてきましたよ。去年ドイツに研修で行った時は第二次大戦の戦時資料なども買ってきました。



(ドイツで研修中に仕入れたアンティークのパイプ)

○この総合政策学科の良いところは何だと思えますか？

良いところは、経済学を基軸にして、そこから自分の自由に色々な分野の授業が取れるところだと思います。これはあくまでも僕の考えですが、お店の経営をしたいから経営学だけを学んでも他と差はつけられないし、競争には勝てないと思うんです。だから幅広いジャンルを俯瞰的に学習できる環境が僕には必要だと思いました。総合政策には環境から IT まで幅広い分野を扱っているし、しっかり基盤授業で経済学も学べますからね。

○今の仕事に活かされた事ってありますか？

仕事のことは仕事をしてみなくては分からないことがほとんどだと思います。でもお店開店のきっかけや、やり方などは実は大学の授業に大きく影響されています。

人は人が変えるものだと思っています。授業では、経済学の教授はもちろん、会社経営者や政治家の人などの話を生で聞ける機会があります。彼らの話はビジネスの第一線で活躍している生きた経済学の話ですし、それぞれの理念や情熱が伝わってきます。そのような場がなければ今の僕はなかったでしょう。

○現在大学に通いながらお店をやっているということですが、どのように両立しているのですか？

大学に入った当初は明確な計画はなく、普通に大学に通っていました。ちょうど 2 年生が終わるころ、よい店舗に巡り合い、このチャンスは逃せないと思ってお店を始めました。それまで週 5 日学校に通っていましたが、その時すでに卒業単位の 3 分の 2 を取得していました。だから現在は週 1, 2 日学校に通って残りの単位を取得しながら、週 4 日お店を営業

しています。

○なるほど！最後にこれからの目標と、それに向けて自分が一番大切にしている理念を教えてください。

目標は細く長く続けていくことです。ビジネスやメディアでも大ヒット商品や大ブームを大きく取り上げる傾向にあります。でもそれらを維持し続けるのは本当に大変なことですし、いつかは必ずすたれると思います。それよりも自分の目の届く範囲で常に進化しながら継続させていくビジネススタイルが僕の理想です。それに向けて大切にしていることは「自分を信じて自分で選択する。」です。「みんながやっているからとりあえず自分も」みたいな考え方は僕の一番嫌いな考え方です。自分で選択・決断すれば、責任は全て自分で背負えますし、成果は全て自分の手柄になります。

○今回はありがとうございました！

